



▲季節は巡りサクラサク

### 一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では2月19日、22日、23日の3日間にかけて、14人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。

# そとがききたい



かまどになる防災ベンチ▼

**教育部長** 学校の最も重要な役割は、児童生徒の安全確保である。避難所としての学校の役割も重要なことで、今後、



## 本市の防災公園の整備状況は

富岡節子議員

「さまざまな角度から検討していく」

**議員** 先日、他市の防災公園を視察した。市の中心部に、大きな広場、災害時に必要となる施設や、防災ベンチ、テントになるパーゴラの説明を聞いてきた。このような公園が本市にも必要と考える。

**都市整備部長** 災害時に上部の座面を取り外して煮炊きができる「かまどベンチ」は、芦原たんぼ公園に2基設置されている。今後、公園の改修や整備を実施する際には、避難場所などの地域性を考慮しながら、設置について検討をしていく。

防災担当部局とも連携し、防災ベンチの設置も含めて研究していく。

企業が移転した後の土地の利用は

**議員** 市内の企業が移転した広い跡地を、マンションなど住宅用にするのではなく、市民のための大きな公園にすることはできないか。

**総務部長** 防災力の強化になり、重要と考えるが、用地取得時の財政状況や平常時の公園の活用方法など、関係部署と協議を図る必要がある。

**議員** 多くの市民が防災を意識しやすい環境づくりに努めてもらいたい。

## 行き過ぎた徴税行政は問題



日本共産党 望月久晴 議員

**議員** 行き過ぎた徴税行政の結果、人権や生活を脅かすような滞納整理が強行されることは問題である。市民の生活実態に対応した徴税行政へ転換すべきだ。



◀税金滞納者の車両の差し押さえ風景

解消や滞納処分強化を図り、収納率向上に努力している。滞納者の状況によっては厳しい対応をせざるを得ない場合もあるが、今後とも人権に配慮した上で適正な法執行に努めていく。

### こども医療費支援制度の拡大を

**議員** こども医療費は、蔽市、さいたま市など多くの自治体が増設している。特別支援学級の増設は、我が党が毎年増設を、

年要望してきたものであり、具体的にどのような内容で増設するのか。

## 望ましい税構成への研究を進めよ



公明党 神谷雄三 議員

**議員** 税務担当部門は、税構造から見た将来の望ましい税構成を考へる頭脳として、都市経営に研究していくことが求められる。

**市長** 租税の原則である「公平、簡素、中立」に立ち、近隣市と比較し法人の課税客体が多いという、市の地域特性に根ざした税構造を強く認識しながら、重要な財源である税の確保を強力に、また柔軟に推進していきたい。

### 単独校給食調理場の見直しを

**議員** 本市の行政面積では、単独校調理場の必要はない。この際、勇気ある見直しを。

### まちづくり協議会とは

**議員** ①まちづくり協議会は、市民の幅広い意識醸成を図ってからの望ましいが、目的と権限は。



◀本庁舎の一面に設置されているボランティア・市民活動支援センター